

第3回加藤敏夫フェロー（2022年度）決定

理事長 清水 扇丈

東南アジア在住の若手研究者を対象とした、第3回2022年度加藤敏夫フェローの応募（2021年11月19日締切）が行われ、6件の応募がありました。応募者の中から、日本数学会、東南アジア数学会から構成される加藤敏夫フェロー選考委員会において慎重な審議・検討がなされ、最終的に Prapanpong Pongsriiam 氏（下記）が選考されました。理事会での承認を経て同氏に通知され、2022年度より受け入れ大学において1年の研究滞在をする運びとなりました。

2021年6月21日から11月19日までの募集期間において、現在活躍されている東南アジア在住の若手数学者に声をかけてくださった方々、またフェロー採択の際に受け入れを引き受けてくださった方々など、多くの数学会会員の方々から加藤敏夫フェローへの御協力をいただきました。お陰様で、多くの優秀な応募者に恵まれました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

今後とも東南アジア若手数学者育成という目的のもと、加藤敏夫フェローを継続していく所存ですので、御協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

今回加藤敏夫フェローとして採択された方と受け入れ研究者は次の通りです。

Prapanpong Pongsriiam 氏

(Associate Professor, Silpakorn University)

受け入れ研究者

松本 耕二氏（名古屋大学大学院多元数理科学研究科・教授）

※所属及び職種は原稿執筆現在